

<特集「モダリティ」>

アカン語のモダリティ Modality in Akan

古閑恭子¹, ダニエル・アーチャンポン²
Kyoko Koga, Daniel Acheampong

¹ 高知大学人文社会科学部
Faculty of Humanities and Social Sciences, Kochi University
² 株式会社晃立
Koritsu Inc.

要旨: 本稿はアカン語のモダリティに関する資料を提示する。データ収集には『語研論集』第25号の英語版調査票(3.「モダリティ」)を使用した。

Abstract: This article provides Akan data collected by using the questionnaire ‘Modality’ designed by Shinjiro Kazama.

キーワード: アカン語、モダリティ

Keywords: Akan, modality

1. はじめに

アカン語はガーナ共和国に話されるニジェール・コンゴ語族クワ語派に属する言語である。アサンテ、アクアペム、ファンテ、アノマボ・ファンテ、アブラ・ファンテ、アチェム、アゴナ、アセン、ダンチラ、クワウ、ゴムア、アハフォ各方言に下位分類される(Eberhard, Simons, and Fennig 2020)。ここで対象とするのはアサンテ方言である。データ収集は、『語研論集』第25号の英語版調査票を使用し(3.「モダリティ」)、アーチャンポン(男性・33歳、アシャンティ州マンポン出身)が、各例文に相当する、あるいは類似、関連するアカン語文を言って古閑が記録する形で行った。必要に応じて、具体的用法や使用場面など、アーチャンポンによる説明も記載した。

2. 資料

- (1) wú=wié adwúmá=nó a wú=bé-⁺túmí á-⁺kó fíé.
2SG.SUB=finish.HAB work=DEF REL 2SG.SUB=FUT-be.able CONS-go house
その仕事が終わったら、もう帰ってもいいですよ。
- (2) wú=wié adwúmá=nó a wú=tumí kó ⁺fíé.
2SG.SUB=finish.HAB work=DEF REL 2SG.SUB=be.able.HAB go.HAB house
その仕事が終わったら、もう帰ってもいいですよ。

許可「～してもいい」は tumi「できる」を使った可能表現で表す。未来形の(1)は指示的(もう帰りなさいよ)で、習慣形の(2)がより許可を表す。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

- (3) ε=n-sé/wó sé †wú=dí.
 INAN.SUB=NEG-proper.STA/be.in.STA COMP 2SG.SUB=eat.HAB
 それを食べてはいけない。

- (4) wú=ñ-tumí ñ-ní.
 2SG.SUB=NEG-be.able.HAB/FUT NEG-eat.HAB/FUT
 それを食べてはいけない。

「～してはいけない」は「ふさわしくない」を使って複文で表す(3)。あるいは(4)のように tumi 「できる」の否定形で表す。未来形か習慣形かで禁止の度合いが違って来るが、主語接語が2人称単数の場合、否定習慣形と否定未来形は形式も声調も同じであるため、ニュアンスの違いは文脈に依存する。

- (5) ñ-ní.
 NEG-eat.IMP
 それを食べるな。

- (6) mèn-ní.
 NEG-eat.IMP
 それを食べるな。

「～するな」は命令形の否定で表す。否定辞を mèn- にするとより強い禁止になる。

- (7) ε=sε/wó sé ye=kó.
 INAN.SUB=proper.STA/be.in.STA COMP 2PL.SUB=go.HAB
 私たちはもう帰らなければならない。

義務「～しなければならない」は「ふさわしい」を用いた複文で表す。

- (8) ε=a-gyé †sé wó=fá akatawía.
 INAN.SUB=PRF-get COMP 2SG.SUB=take.HAB umbrella
 傘を持って出かけたほうがいいよ。

- (9) wú=bé-†túmí á-fa akatawía.
 2SG.SUB=FUT-be.able CONS-take umbrella
 (できれば) 傘を持って出かけたほうがいいよ。

- (10) wú=tumí fá akatawía.
 2SG.SUB=be.able.HAB take umbrella
 傘を持って出かけたほうがいいよ。

推奨「～したほうがいい」は gyé 「取る」(完了形)を用いて複文で表す(8)。より控えめな推奨として

tumi「できる」を用いて可能表現で表すこともできる。(9) (未来形) と(10) (習慣形) の違いは実現可能性の度合いの違いである。(9)は相手が傘を持っているかどうか発話者はわからないが、(10)は相手が傘を持っていることを発話者が知っていることを含意する。

- (11) ε=se/wɔ sé wú=tié wo=mmá
INAN.SUB=proper.STA/be.in.STA COMP 2SG.SUB=listen.HAB 2SG.POSS=children
abéré a wó=á-nyíní.
time REL 2SG.SUB=PRF-grow
歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。

評価的義務を表す特別な形式はない。義務(7)と同じ形式。

- (12) ekóm de=me ntí me=pe sé mi=dí biibí.
hunger take.STA=1SG.OBJ CONJ 1SG.SUB=like.STA COMP 1SG.SUB=eat.HAB something
お腹が空いたので、(私は) 何か食べたい。

「～したい」は pe「好む」を用いて複文で表す。

- (13) me=bé-fá.
1SG.SUB=FUT-take
私が持ちましょう。

意志「(私が) ～しよう」は1人称未来形で表す。

- (14) (ma) yé=ń-nídí m-mó mú.
(give) 1PL.SUB=OPT-eat OPT-unite in
一緒に昼ご飯を食べましょう。

勧誘「(私たちが) ～しよう」は N-動詞語根 (希求形) で表す。

- (15) ye=bé-⁺túmí á-didí á-⁺bó mú?
1PL.SUB=FUT-be.able CONS-eat CONS-unite in
一緒に昼ご飯を食べませんか?

- (16) ye=tumí didí bó mú?
1PL.SUB=be.able.HAB eat.HAB unite.HAB in
一緒に昼ご飯を食べませんか?

「～しませんか」に相当する婉曲的な勧誘は、tumi「できる」を使って表す。(15) (未来形) と(16) (習慣形) の違いは実現可能性の度合いの違いである。(16)は食べ物があることが含意されるが、(15)は食べ物存在は必ずしも含意されない。

(17) mi=nya-a sé owiá bé-bó okyéńá.
 1SG.SUB=get-PST COMP sun FUT-shine tomorrow
 明日、良い天気になるといいなあ。

(18) mi=nya-a anká owiá bé-bó okyéńá.
 1SG.SUB=get-PST imaginarily sun FUT-shine tomorrow
 明日、良い天気になるといいなあ。

制御不可能な事態の実現への望み「～といいなあ」は、nyá「得る」(過去形)を用いて複文で表す。補文マーカー sé の代わりに非現実を表す小辞 anká を置いて表すこともできる。

(19) me=e-twén wó há, fa b'ra há ntém.
 1SG.SUB=PROG-wait in here take.IMP come.IMP here quickly
 (私はここで待っている) すぐにそれを持って来なさい。

2人称単数命令は声調のみで表される。なお、ba「来る」は命令形でのみ他の活用形と異なる語根 bra になる。

(20) wú=bé-⁺túmí de tweré⁺dúá=nó á-⁺fém=mé?
 2SG.SUB=FUT-be.able take pen=DEF CONS-lend=1SG.OBJ
 そのペンをちょっと貸していただけませんか?

(21) wú=tumí de tweré⁺dúá=nó fém=mé?
 2SG.SUB=be.able.HAB take pen=DEF lend.HAB=1SG.OBJ
 そのペンをちょっと貸していただけませんか?

懇願「～していただけませんか」は tumi「できる」を使って表す。(20)(未来形)と(21)(習慣形)の違いは実現可能性の度合いの違いである。(20)は相手がペンを持っているかどうかわからないが、(21)は相手がペンを持っていると発話者が知っていることを含意する。

(22) wó=m-fá tweré⁺dúá=nó m-fém=me?
 2SG.SUB=NEG-take.HAB/FUT pen=DEF NEG-lend.HAB/FUT=1SG.OBJ
 そのペンをちょっと貸していただけませんか?

(23) fa tweré⁺dúá=nó fém=me é?
 take.IMP pen=DEF lend.IMP=1SG.OBJ EMPH
 そのペンをちょっと貸してくれない?

懇願の程度はやや低くなるが、(22)のように否定形で表すこともできる。未来形か習慣形かで実現可能性の度合いが違って来るが、主語接語が2人称単数の場合、否定習慣形と否定未来形は形式も声調も同じであるため、ニュアンスの違いは文脈に依存する。懇願の程度はさらに低くなるが、(23)のように

命令形と願望の小辞 ε の組み合わせで表すこともできる。

- (24) o=tumí kán Twí.
3SG.SUB=be.able.HAB read.HAB Twi
あの人はチュイ語が読めます。

- (25) o=bé-⁺tumí á-⁺kán Twí.
3SG.SUB=FUT-be.able CONS-read Twi
あの人はチュイ語が読めます／読めるでしょう。

可能は tumi 「できる」で表す。tumi を習慣形にするか未来形にするかでニュアンスが異なってくる。状況可能、能力可能の違いというより実現可能性、確信の程度による違いである。(24) (習慣形) は能力可能だけでなく必ず読めると発話者が確信していることを含意する。(25)未来形では確信がないことが含意される。

- (26) mí=n-tumí n-kán saá nkyeréyé=yí é=fri sé
1SG.SUB=NEG-be.able.FUT NEG-read just writing=DEM INAN.SUB=come.from.STA COMP
kané⁺á=nó áno yε mmerε.
light=DEF mouth COP soft
明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。

- (27) mi=n-tumí n-kán saá nkyeréyé=yí é=fri
1SG.SUB=NEG-be.able.HAB NEG-read.HAB just writing=DEM INAN.SUB=come.from.STA
sé kané⁺á=nó áno yε mmerε.
COMP light=DEF mouth COP soft
明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。

(26), (27)の違い (未来形: 習慣形) も確信があるかどうかに関わっている。(27)は (手元に本があるなど) 実際に読めないことが確かな場合、(26)はまだ確かでない。

- (28) ε=se/wɔ sé (anká) wón=á-be-dú seeséi.
INAN.SUB=proper.STA/be.in.STA COMP imaginarily 3PL.SUB=PRF-VENT-arrive now
彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。

- (29) ε=se(/*wɔ)=wɔn sé (*anká) wón=á-be-dú.
INAN.SUB=proper.STA=3PL.OBJ COMP 3PL.SUB=PRF-VENT-arrive
彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。

確信「～はずだ」は (評価的) 義務(7), (11)と同じ形式を用いる。(28)に対して(29)では事態実現を「彼ら」が制御することを表す。(28)は anká があると確信度が低くなる。(29)では anká を用いることができない。

(30) é=e bí a ó=m-má okyéńá.
 INAN.SUB=COP one CONJ 3SG.SUB=NEG-come.FUT tomorrow
 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。

(31) seseé/daméré/gyama ó=m-má okyéńá.
 maybe 3SG.SUB=FUT-NEG-come tomorrow
 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。

推量「～だろう」は「もしかしたら」に相当する条件節もしくは *seseé, daméré, gyama* (この順で確信度が強くなる) のような副詞と未来形によって表す。

(32) wɔ=n-nyá m-ma-e, ése wɔn=káa=nó á-⁺séé.
 3PL.SUB=NEG-get NEG-come-PST certainly 3PL.POSS=car=DEF PRF-spoil
 彼らはまだ来ない、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。

疑念「～のではないか」「(きっと) ～したんだ」は *ése* のような副詞と完了形で表す。

(33) mi=n-ním. é=e bí a ɔ=wɔ=hó
 1SG.SUB=NEG-know.STA INAN.SUB=COP one CONJ 3SG.SUB=be.in.STA=there
 anáá o=n-ní=hó.
 or 3SG.SUB=NEG-be.in.STA=there
 さあ、彼はいるかもしれないし、いないかもしれない。

(34) mi=n-ním. seseé/daméré/gyama ɔ=wɔ=hó
 1SG.SUB=NEG-know.STA maybe 3SG.SUB=be.in.STA=there
 anáá o=n-ní=hó.
 or 3SG.SUB=NEG-be.in.STA=there
 さあ、彼はいるかもしれないし、いないかもしれない。

可能性「～かもしれない」は推量(30), (31)と同じく「もしかしたら」に相当する条件節もしくは副詞 *seseé, daméré, gyama* などを用いる。

(35) ε=a-yé sé wo=hó ye hye.
 INAN.SUB=PRF-COP COMP 2SG.POSS=body COP hot
 どうもあなたは熱があるようだ。

(36) ε=yé=me sé wo=hó ye hye.
 INAN.SUB=COP=1SG.OBJ COMP 2SG.POSS=body COP hot
 どうもあなたは(私のみたところ)熱があるようだ。

視覚／聴覚以外の感覚による判断「～ようだ」は無生物主語のコピュラ文で表す。(35)「一般的判断」

に対し(36)のように目的語をとると「私の判断では」となる。

- (37) (ewíém[†]nímdéfóó sé) osúó bé-tó [†]kyéná.
weatherforecast say.HAB rain FUT-fall tomorrow
(天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。

伝聞「～そうだ」に相当する特別な形式はない。未来形で表す。

- (38) (sɛ) me=wɔ siká a anká me=bé-tó saá káa=nó.
COMP 1SG.SUB=have.STA money CONJ imaginarily 1SG.SUB=FUT-buy just car=DEF
もしお金があったら、あの車を買うんだけれどなあ。

反実仮想「～だったら～するのだが」は条件節と非現実を表す小辞 *anká* の組み合わせによって表す。主節は未来形。

- (39) sɛ wó=á-n-ká n-kyéré=me a anká
COMP 2SG.SUB=PRF-NEG-say NEG-teach=1SG.OBJ CONJ imaginarily
me=a-n-kɔ=hó.
1SG.SUB=PRF-NEG-go=there
もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。

反実仮想過去「～だったら～したことだろう」は条件節を用い、主節は過去形（過去形の否定は形の上では否定完了形。「アカン語のアスペクト」参照）で表す。非現実を表す小辞 *anká* が必須である。

- (40) ɔ=pe sé ɔ=kó [†]kúró késee=mú.
3SG.SUB=like.STA COMP 3SG.SUB=HAB.go town big=in
(あの人は) 街へ行きたがっている (行きたい)。

- (41) ɔ=ɔ-pe sé ɔ=bé-kó [†]kúró késee=mú.
3SG.SUB=PROG-like COMP 3SG.SUB=FUT-go town big=in
(あの人は) 街へ行きたがっている。

3人称の主体による希望も1人称による希望(12)と同じく *pe* 「好む」を用いて表す。(41)のように進行形は一時的な希望を表す。

- (42) (ma) mé=n-nóm kak'rá.
give.IMP 1SG.SUB=OPT-drink small
僕にもそれを少し飲ませろ。

1人称命令「(私に) ～させろ」は希求形で表す。

(43) (ma) ó=m-fá=nó m-mrá.
 give.IMP 3SG.SUB=OPT-take=INAN.OBJ OPT-come
 これはあの人に持って行かせる。

(44) hyé/hwé má ó=m-fá=nó m-mrá.
 set.IMP/look.IMP give.IMP 3SG.SUB=OPT-take=INAN.OBJ OPT-come
 これはあの人に持って行かせる。

3人称命令「(彼に)～させろ」は許可命令(43)と使役命令(44)が区別される。許可命令は1人称命令(42)と同じく希求形で表す。使役命令では希求形と hyé「置く」または hwé「見る」の命令形の組み合わせで表す。「見る」を用いるのは実際に見て確かめる場合。

(45) di kwadú=nó á⁺kyíré.
 eat.IMP banana=DEF later
 そのバナナは後で食べなさい。

命令形に近未来／遠未来の区別はない。(19)と同じ形式。

(46) (sɛ) ánká me=ba-a ntém áa.
 COMP imaginarily 1SG.SUB=come-PST quickly CONJ
 私がもっと早く来ていれば。

反実仮想(過去)は条件節を用いる(38),(39)が、主節がなくとも文が成立する(脱従属化)。非現実を表す小辞 *ánká* が必須である。

(47) á⁺dén na mó=n-kó m-mo=m?
 why FOC 2PL.SUB=NEG-go.FUT NEG-unite.FUT=in
 あなたも一緒に行ったら(どうですか) [lit. なぜ一緒に行かないのか]?

(48) mó=kó bó=mú ε?
 2PL.SUB=go.HAB unite.HAB=in EMPH
 あなたも一緒に行ったら(どうですか)?

「～したら(どうか)」は、疑問詞 *á⁺dén*「なぜ」を用い、「なぜ～しないのか?」のように言う(47)。または、文末に願望、提案の小辞 *ε* をつける(48)。条件節は使わない(条件節にすると、「～すればどうなることか」(わかっている)、のような意味になる)。

(49) me=bé-yé/sí dén na me=a-hú?
 1SG.SUB=FUT-do/set what CONJ 1SG.SUB=CONS-see
 オレがそんなこと知るか[lit. 知るのに何をするのか]!

- (50) mé=ń-nyé déń na me=a-hǔ?
1SG.SUB=OPT-do what CONJ 1SG.SUB=CONS-see
どうして私にわかるでしょうか[lit. 知るために何をしましょうか]。

反語的表現「～か!」には疑問詞 déń 「何」を用い、「～するのに何をするのか」のように言う。疑問詞を含まない文は使えない。yé よりも sí が強い。(50)は丁寧な言い方である。

- (51) wó=maamé na ε=yé-eyé, anáá?
2SG.POSS=mother FOC 3SG.SUB=make-PST or
--- daabí ε=ye mé á.
no INAN.SUB=COP 1SG EMPH
これを作った(料理した)のは、お母さんだよね?/いいえ、私が作ったのよ。

付加疑問文には英語の or に相当する語を文末に置く。

略号

1	1 人称	INAN	無生物
2	2 人称	NEG	否定
3	3 人称	OBJ	目的接語
COMP	補文標識	OPT	希求
CONJ	接続詞	PL	複数
CONS	順続	POSS	所有接語
COP	コピュラ	PRF	完了
DEF	定	PROG	進行
DEM	指示	PST	過去
EMPH	強調	REL	関係詞
FOC	焦点	SG	単数
FUT	未来	STA	状態
HAB	習慣	SUB	主語接語
IMP	命令	VENT	来辞

参考文献

Eberhard, D.M., G.F. Simons, and C.D. Fennig (2020) *Ethnologue: Languages of Africa and Europe, Twenty-third edition*, Dallas, Texas: SIL International.

執筆者連絡先 : koga@kochi-u.ac.jp

原稿受理 : 2022 年 12 月 10 日